

パラオダイビング協議会より マンタウォッチングについてお願いです！

ダイバーに人気の生物マンタ！

お客様からのリクエストも多く、ここパラオでもマンタウォッチングを皆さんに楽しんで頂いています。人気のポイント：ジャーマンチャネルでのマンタウォッチングスタイルは、クリーニングステーションを訪れるマンタを観察するものと、捕食行動のため中層をぐるぐる泳ぎ回るマンタを観察する2種類。しかし、ここ数年は捕食マンタを観察するためにダイバーが中層／沖合いに出るケースが多くなり、マンタの行動に変化が現れてきました。

マンタの捕食行動を観察できるエリアが沖へ沖へと移動し、マンタがクリーニングステーションを訪れる機会、滞在時間が少なくなるといった変化が生じています。

BTA・JAPAN、ダイビング協議会ではダイバーの行動が起因すると思われる、更なる水中環境の変化を最小限に防ぎ、ジャーマンチャネルがマンタが安心して訪れることの出来る環境を取り戻すためにマンタウォッチングに関するガイドラインを作成し、パラオ全体へ広める活動を行っています。本ガイドラインに対する皆さまのご理解とご協力をお願い致します。

マンタウォッチングの注意事項

- ☆ クリーニングステーションには近づかない。
- ☆ クリーニングステーション周りではグループでまとまり、砂地に着底した状態で待つ。
- ☆ クリーニングステーションはマンタがいつでも利用できる状態を保つこと。
- ☆ クリーニングステーションから離れる場合も水底付近を移動する。
- ☆ マンタが現れた場合には姿勢を低くして観察する。
- ☆ 触れる距離にマンタが来ても触らない。
- ☆ 水中移動中にマンタに遭遇した場合出来る限り動かない、もしくは着底して観察する。
- ☆ 追いかけたり、進路をふさぐ等、マンタにストレスになると思われる行為は避ける。
- ☆ マンタ捕食時も中層（沖）へは泳ぎださない。
- ☆ ガイドの指示に気をつける

